**令和２年７月　　真鶴町教育委員会定例会要旨　　会議録**

期　　　間：　　　　令和２年７月20日（月）　　　午後２時３分より

場　　　所：　　　　真鶴町民センター　３階　講堂

出　席　者：　　　　牧岡努教育長、瀧本朝光委員（教育長職務代理者）、

草柳栄子委員、佐々木美穂委員、松野司委員

　　　　　　　　　　岩本幹彦教育課長、山田譲生涯学習担当課長

　　　　　　　　　　水野琢磨学校教育専任課長

書記：小野真人主幹兼学校教育係長、秋澤勝太主事

欠　席　者：　　　　なし

傍　聴　者：　　　　なし

議事

１　開会

　　　教育長あいさつ

２　教育長の報告

1. 学校教育に係る部分について

・園・学校の様子に関すること

・児童生徒指導に関すること

・学校の安全に関すること

・その他

（２）生涯学習に係る部分について

・スポーツ・文化事業に関すること

・青少年育成に関すること

・文化施設に関すること

・その他

３　協議事項

(１)町議会９月定例会提出の補正予算について

課長：　　　私の方から説明させていただきます。資料１をご覧ください。例年ですと９

　　　　　　　月に説明をさせていただいているものですが、９月に町長選挙が行われる関係

　　　　　　　で議会が８月18日から始まるという日程でひと月早くなります。その関係で、この時期に補正予算についてご審議していただくことになりました。それでは１ページをご覧ください。歳入です。14款国庫支出金２項国庫補助金５目教育費国庫補助金です。まず、１節の教育総務費補助金です。一連のものはコロナ関係の対策費の補正予算でございます。学校保健特別対策事業費補助金です。感染症対策のためのマスク等購入事業ということで、学校再開時にあたり集団感染のリスクを避けるため学校関係者が必要とする経費の補助を行います。こちら一人当たり340円と上限が決まっております。小学校が192人ですので65千円。中学校が115人ですので39千円それぞれを補正として挙げさせていただきます。こちらが合わせて104,000円になります。それから、学校再開に伴う感染症対策学習保障に関わる支援事業ということで、感染リスクを最小限にしながら学校再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びを保障するための取り組みに必要な経費ということで、こちら上限が小・中学校各100万円ということで、200万円の補助が決定しています。こちらを計上して2,000,000円と明記されています。合わせてこちらの補助金2,104,000円の計上をしています。次いで小学校費２節小学校補助金です。公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金でこちら事業の内定通知書がまいりまして、交付の内定が出ましたので減額補正をするものです。小学校分として1,852,000円の減額。３節中学校費補助金同様の理由でこちらについても減額を行うということで1,850,000円の減額です。続いて３ページをご覧ください。14款国庫支出金３項委託金４目教育支援体制整備事業費交付金でございます。こちらの方は、教育支援体制整備事業費交付金ということで幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業ということで小・中とは別の交付金が出ます。これにつきましては、10割の国負担ということで523,000円を予算計上するものでございます。以上が歳入になります。

４ページをお願いします。４ページ以降につきましては歳出でございます。９款教育費１項教育総務費２目事務局費につきまして、２節の給与、３節の職員手当それぞれ教育長の給料と期末手当でございます。特別職三役につきましては、コロナ対策費の財源確保ということでそれぞれ５％カットするという申し合わせの中でこちらの減額があります。それぞれ、100,000円と61,000円です。７節の報償費です。学校事故調査委員謝礼です。当初予算で積んでおいたのですが、８月以降の委員の出席にあたる謝礼を計上しておりませんでしたので回数を見込んで計上するものであります。924,000円の追加補正です。８節の旅費につきましては、それぞれ委員の費用弁償ということで57,000円計上しております。６ページをお願いします。９款教育費２項小学校費１目学校管理費です。先ほど歳入の方で説明いたしました。補助金の使い道についてこちらで計上いたしました。10節需用費の消耗品費でございます。小学校ではフェイスシールド等の消耗品を購入するということで４月から３月支出見込額計130,493円を計上します。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということでコピー用紙、トナーの購入ということで215,358円を計上します。合わせまして346,000円の追加補正を計上するとしています。それから、11節の役務費通信運搬費になります。こちらも学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで臨時休業期間中に家庭学習の課題等の送付に係るレターパック代ということですでに送っているものと今後あるかもしれないと見込んでの計上となります。312,678円ということで313,000円を計上します。それでは、７ページをお願いします。同じく、教育費小学校費学校管理費でございます。17節の備品購入費で学校運営用備品購入費は学校保健特別対策事業費補助金でございます。先ほどの学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業の一環として、飛沫防止パーテーション購入488,400円、靴消毒用マット購入ということで玄関と各学年分ということで252,769円計上します。網戸購入ということで、712,800円合計1,454千円を追加計上しています。30節図書購入費です。教師・児童用図書購入費ということで、こちらのほうは、学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで家庭学習用教材購入、算数２種と国語で合計54,780円こちらの方はコピーして配っても問題ないような教材を購入する予定です。こちらが55千円の追加計上になります。８ページをお願いします。９款教育費３項中学校費１目学校管理費です。中学校での対応になります。10節の消耗品費になります。感染症対策のためのマスク等購入事業としてマスクや手袋を購入、これが、78,000円。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで小学校と同様にコピー用紙とトナーの購入ということで、258,429円。消耗品では、合計337千円を追加計上。11節の通信運搬費でございます。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで小学校同様休業中の家庭学習課題等のレターパック費用ということで414,520円。415千円を追加計上。それから、手数料でございます。修学旅行キャンセル手数料です。こちら、生徒分、教員分合計143,904円見込んでおりました。国のほうで負担していただけるということになりましたので、教育委員会で計上していた分は０になりました。９ページは同じく中学校費の学校管理費でございます。備品購入費です。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで消毒用マット147,499円、エアコン購入759,000円、網戸購入448,800円合計1,356千円追加計上しています。10ページ、９款教育費４項幼稚園費１目幼稚園費、先ほど説明した補助金の補助をいただけるという事業でございます。10節の消耗品費でございます。こちらのほうが、教育支援体制整備事業費交付金事業ということで、幼稚園において感染症対策に必要なマスクやパーテーションといった消耗品を購入するために、417,730円。418千円を計上するものであります。11ページは同じく、交付金事業でございます。こちらは、靴消毒用マットの購入費になります。105,270円。106千円を計上いたします。12ページをお願いします。５項社会教育費４目町民センター費になります。14節工事請負費、自家発電機更新工事ということで、老朽化により腐食しているため動作不能。消防の是正指示あり。町民センターは指定緊急避難場所及び第２順位の災害対策本部設置施設の位置付けとなっていることから早急にやらなければいけないということで補正予算対応で上げさせていただきました。39,255,700円。39,256千円予算計上するというものでございます。13ページは保健体育費保健体育総務費でございます。12節の委託料ソフトバレーボール大会審判委託料です。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、大会を中止としたため減額するもので、30,000円の減額になります。14ページをご覧になってください。同じく保健体育総務費でございます。10節需用費の修繕料でございます。岩ふれあい館公衆便所の改修です。ドアが老朽化で痛んでおり修理したいと上げたんですけど、町長査定の段階で当初でやりなさいとのことで０になりました。手数料でございます。岩ふれあい館PCB分析調査手数料です。老朽化しているため改修する必要があるということで令和４年３月31日までに処理を完了する必要があるため44,000円を計上しました。12節の委託料岩ふれあい館にある遊具の撤去の当初予定していたものから追加したため87,000円追加計上したものです。以上が９月補正にかける内容でございます。

　　　教育長：　　　それでは、１ページから３ページの歳入予算に関してご質問、ご意見を伺います。いかがでしょうか。では、無いようでしたら11ページまでの園、学校関係の歳出予算についてご質問、ご意見がありましたらおねがいします。

委員：　　　８ページの修学旅行キャンセル料なのですが、小学校はないですよね。

係長：　　　小学校につきましては、修学旅行の延期という形をとっておりますので、目的地は変わらないため、キャンセル料は発生しておりません。中学校は、目的地自体を改めて変えて検討するということで、最初に企画していた京都・奈良の企画料が発生していますのでその分のキャンセル料になります。

委員：　　　ありがとうございました。

　　　教育長：　　　他にいかがでしょうか。では、12ページから14ページの社会教育関係の内容についてご質問、ご意見ありましたらお願いします。全体を通してありましたらお願いします。では町議会９月定例会補正予算について、この案で提出をお認めいただけるかたは挙手をお願いします。

全委員：　　　（全員挙手）

教育長：　　　全員賛成です。では、協議事項(２)令和元年度教育委員会関係決算について事務局お願いします。

(２)令和元年度教育委員会関係決算について

課長：　　　資料２をご覧ください。歳入からご説明いたします。11款 分担金及び負担金、１項 負担金、５目 教育費負担金、決算額は2,127,690円。幼稚園管外教育受託児童負担金で、前年度比539,890円の増です。真鶴町外に居住しながら、町立ひなづる幼稚園に通っている園児４名に係る受託料となります。10月からの保育料無償化に伴い受託児童負担金の額が増額となったことによる増です。園児内訳は３歳児２名、５歳児２名です。12款 使用料及び手数料、１項 使用料、６目 教育使用料、決算額は7,909,880円。教育使用料の内容として、幼稚園保育料、美術館観覧料、博物館観覧料、公民館使用料、町立体育館使用料、学校開放施設使用料で、前年度対比3,059,715円の減額です。減額の主な理由としては、幼稚園保育料で1,269,200円の減。これは令和元年度の在園園児数が33名で前年度に比べて３名の減と10月から保育料が無償化となったことです。美術館観覧料では、1,546,400円の減。前年度は開館30年特別展を開催したことにより、入館者が増加しましたが、令和元年度は通常の企画展の実施となったことと台風・コロナ感染症拡大等による閉館が多かったこと等が減額となった理由です。13款国庫支出金、２項国庫補助金　5目 教育費国庫補助金　決算額12,164,000円は、前年度対比12,108,000円の増です。内訳ですが、教育総務費補助金決算額78,000円は、要保護生徒1名及び特別支援学級就学児童３名、生徒２名にかかる補助金で前年度比22,000円の増です。また、幼稚園、小中学校の特別教室等の空調設備設置事業について、小学校費補助金5,926,457円、中学校費補助金3,930,711円、幼稚園費補助金2,228,832円が皆増となったことが増額の主な理由です。14款県支出金　2項県補助金　７目教育費県補助金　決算額983,000円は前年度対比476,000円の増です。内訳は前年度からの継続事業である放課後子ども教室推進事業費補助金が276,000円で6,000円の増と土曜日の教育活動支援事業費補助金が265,000円で28,000円の増です。また、新規に市町村スポーツ施策推進補助金442,000円が皆増となりました。これは、オリンピック・パラリンピックに合わせて交付される補助金で、町民運動会、真鶴半島駅伝、ニュースポーツ大会が対象事業です。

９目神奈川県市町村事業推進交付金は、青少年行政推進事業交付金決算1,090,000円で、前年度対比243,000円の増です。増額の理由は、海と山の子どもたちの交流会が令和元年度は受入れ年度のため、増額となりました。３項委託金、５目教育費委託金は、前年度同様対象事業がありませんでした。一昨年、県からの委託を受けた小中一貫教育推進モデル校事業実施いたしました。15款財産収入、２項財産売払収入、１目物品売払収入のうち、美術館図録等売払収入　決算額は963,250円で、前年度に対し682,000円の減です。前年度は開館30年記念展に合わせて図録を新たに作成したことや、絵葉書の種類を増やしたことにより増額となりましたが、今年度は新規の販売物もなく、入館者が減少したことにより減となりました。16款寄附金１項寄附金５目教育費寄附金　決算額599,997円は、小学校費寄附金242,000円、これは、まなづる小学校バス通学保護者会寄附金。幼稚園費寄附金323,000円、これは、ひなづる幼稚園通園バス利用者保護者会寄附金。教育総務費寄附金34,997円、これは、図書館リサイクルフェアで寄せられた寄附金。前年度対比31,220円の減となっております。17款 繰入金１項 基金繰入金５目 奨学基金繰入金150,000円は、高校入学支度金として一人当たり30,000円５名分です。６目 学校図書等整備基金繰入金は、前年度と同様、繰入はありませんでした。７目 美術館運営基金繰入金2,000,000円は、前年度対比727,760円の増です。19款 諸収入４項雑入1目雑入のうち教育委員会関係です。公民館・図書館のコピー機使用料、町民センター・町立体育館自動販売機電気料の合計として367,304円。海の学びミュージアムサポート補助金6,000,000円は、28年度からの継続で「日本海事科学振興財団　船の科学館」より、貝類博物館で実施する、「海の学び」からはじめるまちづくり事業への補助金と新規事業として海の学びミュージアムサポート補助金（博学連携）が追加されました。町民音楽祭模擬店売上代7,500円は前年度に引き続き音楽祭の開催時に青少年指導員の方々が実施した模擬店の売上です。以上、教育委員会関係歳入決算計34,362,621円、前年度決算額21,228,745円、比較増減額13,133,876円の増額となりました。

続きまして、歳出です。歳出は、２ページ目の教育費決算額一覧と、別添資料主要事業実績一覧で説明させて頂きます。初めに、令和元年度の教育費歳出決算額につきましては記載のとおりですが、前年度決算額との比較増減が大きいところについて、説明させていただきます。１項教育総務費　２目事務局費、決算額79,559,381円、前年度対比12,039,072円の減です。これは人事異動による減額が主な要因です。３目教育振興費決算額20,075,436円は前年度対比3,263,524円の増です。主な理由は、新規事業として学校教育あり方検討会委員報酬232,000円が皆増となったこと。同じく新規事業として、副読本研究事業の印刷製本費2,252,250円を支出しました。平成23年度に作成したものの改訂版を小学校分500部、中学校分450部作成。令和２年度当初に小学３年生から６年生の児童と中学生全員に配付し、令和３年度以降は、それぞれ新小学３年生と新中学１年生に配付いたします。同じく新規事業として教育子育て支援事業の教育子育て支援員賃金に1,323,000円を支出しました。教育分野での子育て支援に係る諸課題の把握と対応、虐待事案等に対する実施機関との連絡、調整行うため、支援員１名を７月から配置しました。継続事業として、入学祝金2,070,000円は前年度対比30,000円の増で、真鶴町在住の小中学校入学児童27人前年度37人、生徒42人前年度31人に一人30,000円を支出しました。２項小学校費１目学校管理費　決算額61,254,602円は、前年度対比28,797,134円の増です。主な理由は、増額では新たに支援員１名を配置したことによる増。備品購入事業3,158,567円は、前年度対比1,759,940円の増で、教科書改訂により、教師・児童用図書購入費2,686,371円が主な支出です。情報教育推進事業7,623,921円は前年度対比2,067,710円の増で、新規に40台のタブレットを増加したことによるものです。学校施設改修事業24,597,814円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料1,370,714円、空調設備設置工18,032,300円と新規事業として小学校防水改修工事5,194,800円を施工しました。減額については、修繕料1,427,420円は、前年度対比2,291,087円の減で、実施した修繕の内訳は、非常階段踊り場塗装398,520円、受水槽配管修繕178,200円、汚水管補修工事255,200円等です。３目給食費　決算額12,058,621円は、前年度対比614,767円の減です。学校がコロナ感染症対策として休校となったため、給食調理員の勤務日数が減少したため賃金の減額が主な要因です。３項中学校費　１目学校管理費　決算額37,483,097円、前年度対比17,432,463円の増です。増額の主な理由は、修繕料3,059,393円は、前年度対比2,174,535円の増で、高圧設備更新工事842,400円、体育館ステージ横床修繕260,442円、音楽室空調設備更新工事605,000円等を実施しました。情報教育推進事業5,932,896円は前年度対比783,096円の増で、教師用校務パソコンの更新に伴う情報教育システム借上げ料の増が主なものです。学校施設改修事業13,677,294円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料1,370,714円、空調設備設置工事12,306,580円を支出しました。４項幼稚園費　1目幼稚園費　決算額43,417,283円は前年度比7,802,661円の増です。主な理由は、一般経費では前年度対比1,220,812円の増で、これは臨時職員１名を新規に配置したことによる賃金の増が主なものです。幼稚園施設改修事業7,663,692円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料822,572円、空調設備設置工事6,841,120円を支出しました。減額については、マイクロバス管理経費696,114円は、前年度対比988,499円の減で、故障により車検を通さず、修理もしなかったための減額です。なお、故障後の９月20日以降は、町バスで送迎いたしました。５項１目社会教育総務費決算額6,132,305円、前年度に対し380,610円の増です。主な理由は、一般経費が前年度対比121,607円の増で、これは社会教育指導員報酬及び職員の時間外勤務手当の増が主な要因です。青少年関係経費では、前年度対比262,539円の増で、グリーンエイド実行委員会補助金に舞台設営部材費用として297,000円の増額をしたことが主な要因です。３目文化財保護費決算額5,408,679円は前年度対比2,539,849円の増です。文化財保護事業5,184,000円は、前年度対比2,543,600円の増で、小早船改修事業補助金1,666,000円及び小早船組立図面作成事業補助金875,000円が皆増となっています。４目町民センター費決算額36,254,275円は前年度対比19,736,855円の増です。増額の主な理由は、新規事業として町民センター大規模改修工事施工管理委託料484,000円と町民センター大規模改修工事23,012,000円が皆増です。減額については、町民センター大規模改修工事設計委託料2,494,800円と植栽剪定委託料496,800円が皆減です。５目民俗資料館運営費決算額35,971,347円は前年度対比33,982,287円の増です。増額の主な理由は、新規事業として公有財産購入費34,800,000円が皆増です。開館以来、無償貸与していただいた民俗資料館の土地・家屋を購入しました。修繕料110,000円は前年度対比915,568円の減で、今年度は門柱の修繕のみの支出でした。６目美術館費決算額31,561,105円は前年度対比9,274,106円の減です。印刷製本費524,707円は前年度対比3,331,646円の減で、開館30周年記念図録の印刷費の減。広告料146,680円は前年度対比260,480円の減、美術品火災盗難損傷保険料491,650円は前年度対比147,120円の減で、いずれも開館30周年記念展に係る広告料及び借用絵画等に係る保険料の減です。前年度の特別展借用作品展示作業等委託料1,660,586円は皆減です。また、前年度の美術館運営基金元金積立3,000,000円は皆減です。７図書館費　決算額14,655,203円は前年度対比525,422円の増です。増額の主な理由は、臨時職員賃金3,648,390円は前年度対比440,580円の増で、最低賃金改訂によるものです。備品購入費80,992円及び図書購入費749,914円は皆増です。減額の主な理由は、図書等備品購入費599,911円が皆減です。また、前年度の修繕料141,480円も皆減です。

８貝類博物館運営費　決算額12,206,431円は前年度対比3,417,703円の増です。

臨時職員賃金2,296,125円は前年度対比202,755円の増で、これは前年度、受付の臨時職員が病気欠勤していましたが、復帰したことにより増額となりました。海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）3,005,914円は新規事業で、皆増です。内訳は、海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）委託料1,800,000円で、これは海の学校事業の機能強化と参加促進を図るための委託料です。海の学校を利用する学校を対象に出前授業による事前・事後学習を実施し、海の学校当日の生物観察に目的意識を持たせるとともに、生態系や環境問題等に視野を広げる取組をしています。備品購入費881,085円は顕微鏡及びテーブルを購入しました。６項保健体育費　１目保健体育総務費　決算額6,999,968円は前年度対比698,458円の減です。減額の主な理由は岩ふれあい館管理運営事業3,514,397円は前年度対比1,231,965円の減です。内訳は、修繕費743,870円は前年度対比885,235円の減、岩ふれあい館グラウンド入口改修工事997,920円の皆減が主なものです。なお、体育器具保守点検委託料11,000円と植栽剪定委託料649,100円は皆増です。町民ニュースポーツ大会事業439,509円は、新規事業で皆増です。内容は、審判資格取得講習会講師謝礼70,000円は横浜ボッチャ協会から３名の講師を招き実施し、備品購入費347,865円はボッチャ用具を購入、が主なものです。２目体育館運営費　決算額5,877,209円は、前年度対比456,785円の減です。光熱水費770,906円は、683,561円の減、LED化によるもの、修繕料254,880円は、平成30年度は消防設備非常放送設備修繕を実施、これがなくなり、令和元年度は、冷水器撤去、廊下壁他補修を実施、都合471,262円の減、清掃委託料302,230円は、73,054円の減、一括入札による効果、ＡＥＤ借上料73,074円は、11,814円の減、中学校と併せて借上げを実施したことによる減、これらが減額の主な理由。管理指導員賃金3,643,845円は、763,935円の増、平成30年度は数か月間職員が昼間ローテーションに入っていましたが、令和元年度は年間非常勤で賄ったことにより増となっています。歳出の決算合計は、413,702,002円、前年度決算額に対し、94,589,108円の増額となりました。

　続きまして、主要事業実績をご覧ください。歳出につきましては、事業ごとに執行しており、主要事業実績一覧として、事業名、事業費決算額、事業概要を取りまとめました。主な事業概要について説明させていただきます。

なお、決算額は千円単位です。１項教育総務では、英語力向上推進事業や心の教室相談事業、不登校訪問相談事業に係る講師や相談員の謝礼を支出しています。なお、英語力向上推進事業につきましては、前年度まで外国語指導助手事業という名称で事業を実施していました。従前の語学研修講師謝礼に加え、新規事業として英語検定料の補助を実施しました。児童生徒就学援助事業として、要保護及び準要保護児童生徒援助費として1,431千円と特別支援教育就学奨励費142千円を支出しました。これは経済的理由により就学が困難な児童生徒、特別支援学級に在籍する児童生徒のいる家庭に対し学用品等の補助を実施するものです。５項　社会教育費では、青少年関係事業で、成人式運営委託料99千円、青少年育成連絡会補助金500千円、グリーンエイド真鶴実行委員会補助金501千円、中学生グローバル人材育成事業補助金1,086千円等を支出しました。生涯学習関係事業では、家庭教育学級、人権教育講演会及び生涯学習研修会等の講師謝礼を支出しました。各種講座等を企画・開催することにより、生涯学習・家庭教育支援を行いました。公民館事業では、公民館の貸館業務の受付等を行う臨時職員賃金として999千円を支出しました。また、趣味の講座としての公民館教室や夏休み中の子どもフェスティバルの講師謝礼を支出しました。文化財保護事業では、文化財保護思想の普及のため文化財だより印刷製本費143千円を支出しました。新規事業として、小早船改修事業補助金1,666千円と小早船組立て図面作成事業補助金875千円を支出しました。町民センター施設管理経費では、開館から30年以上が経過した建物の外壁補修や空調設備等の大規模改修を実施しました。海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）は新規事業で、特定非営利活動法人ディスカバーブルーへ委託料1,800千円と顕微鏡やテーブル等の備品購入881千円を支出しました。従前から実施している海の学校の強化・充実を図りました。６項 保健体育費　社会体育関係補助事業として、社会体育団体の育成を図るため町体育協会助成金308千円を支出しました。また町民ニュースポーツ大会事業では、パラリンピックの正式種目のボッチャ競技に注目し、幼児から高齢者まで運動に親しむボッチャ大会を実施しました。以上で説明を終わりにします。

教育長：　　一括してご質問やご意見があればお願いします。よろしいでしょうか。では、令和元年度教育委員会関係決算についてお認めいただける方は挙手をお願いします。

全委員：　　（全員挙手）

教育長：　　全員賛成です。以上をもちまして、協議事項を終わります。では、真鶴町教育委員会７月定例会を終わりにします。ありがとうございました。